

# 日本経済政策学会ニューズレター

No. 14

2000

## 目 次

◎会長あいさつ……………	1	◎レフェリー論文投稿要領……………	21
◎総会議事録……………	2	◎役員選挙の告示とお願い……………	22
◎学会役員……………	4	◎平成11年度決算書……………	23
◎会員状況……………	9	◎平成12年度予算書……………	24
◎学会規則の改正……………	19	◎全国大会・部会研究会のご案内……………	25
◎年報編集内規……………	20	◎研究助成・奨学金のお知らせ……………	26
◎自由投稿論文に関する内規……………	20	◎本部事務局からの連絡事項……………	27
◎邦文文献の書評に関する内規……………	21	◎本部・部会事務局連絡先……………	28

## ごあいさつ

会長 横井 弘美

沖縄国際大学で開催された第57回全国大会および本会共催の「2000年・沖縄特別国際シンポジウム」を盛会裡に終えることができましたことをとても嬉しく思います。ご尽力をいただきました比嘉堅大会準備委員長、宮城辰男シンポジウム実行委員長、施昭雄副会長、企画の段階から関わってくださった植草益直前会長、そして会員の皆様に心から感謝申し上げます。

大会期間中、沖縄の方々のホスピタリティに感動しました。20世紀は、一方で自由を求めた資本主義市場経済体制と、他方で平等を求めた社会主義計画経済体制の相克の歴史だったと言えるでしょう。ただその双方とも博愛を置き忘れてきました。この博愛を内包する家族、ボランティアや協同組合などの非営利組織、コミュニティを社会経済システムの中にどう組み込んでいくか、21世紀を生きる私たちに問われている課題でしょう。大会およびシンポジウムの場で、沖縄地域開発について多くの具体的な施策の提言がありました。それだけに、沖縄を特徴づけると言っているいいホスピタリティの土壌を施策体系のなかにもどう組み込めるか、成果が期待されます。

次の大会は明治大学で開催されます。積極的なご参加をお願い申し上げます。

---

# 日本経済政策学会総会議事録

日 時：平成12年5月27日（土） 13:50～14:30

場 所：沖縄国際大学7号館201教室

## 1. 総会議長選出

施昭雄常務理事（副会長）を選んだ。

## 2. 報告事項

### (1) 本他会務報告

横井弘美会長より、以下の件について報告があった。

- ① 本部事務局の件
- ② 中部部会事務局変更の件
- ③ 会員状況の件
- ④ 学会ニューズレターNo.13を発行した。
- ⑤ 日本学術会議第18期会員に横井弘美会長が選出された。
- ⑥ 本部事務局の事務処理について（DBの件）

会員名簿、会費納入状況等データ入力および管理の簡素化、マニュアル化を図るため、データ管理専用ソフト「桐 Ver. 8」に変更したい。

### ⑦ 役員選挙の告示

現役員の任期があと1年になったので、今大会の総会で、役員選挙の告示を行う。

（本会役員選出内規および次年度大会までの役員選出日程については、ニューズレターNo.11参照）

### (2) 各部会報告

議長より、学会年報第48号の「学会記事」を参照してほしい旨の報告があった。

### (3) 各委員会報告

① 組織委員会：特になし。

② 出版編集委員会：

近江谷幸一委員長より、年報第48号が発行されたこと、および第49号に次の3篇を書評対象に選定した旨の報告があった。

呉 錫畢 『環境政策の経済分析』 日本経済評論社

阿部 望 『現代イギリスの産業競争力』 東海大学出版会

影山 僖一 『通商産業政策論研究：自動車産業発展戦略と政策効果』 日本評論社

③ 国際交流委員会：特になし。

---

### 3. 協議事項

(1) 新入会員承認の件

会長より、本年度の入会申込者について説明があり、これを承認した。

(2) 学会規則改正の件

会長より、「本会の目的に賛同し、本会の事業を援助する法人等の会員」を「賛助会員」として新たに本会の会員に加えるとの提案があり、これを承認した。

(3) 年報編集内規等改正の件

近江谷幸一出版編集委員長より、「年報編集内規等改正案」について説明があり、これを承認した。

(4) 平成 11 年度決算の件

小林甲一本部幹事より、「平成 11 年度決算書」について説明があり、次に神野直彦会計監事より会計監査報告があり、これを承認した。

(5) 平成 12 年度予算の件

小林甲一本部幹事より、「平成 12 年度予算案」について説明があり、これを承認した。

(6) 名誉会員推薦の件

会長より、清水嘉治会員および尾上久雄会員の名誉会員への推薦があり、これを承認した。

(7) 役員変更の件

次の理事の変更について承認した。

清水嘉治（神奈川大）→ 佐藤孝治（神奈川大）

和田禎一（早稲田大）→ 松本保美（早稲田大）

佐々木雅幸（金沢大）→ 鉢野正樹（北陸大）

瀬尾芙巳子（摂南大）→ 明石芳彦（大阪市立大）

小林一三（京都産業大）→ 葛西孝平（京都産業大）

(8) 明年度全国大会の件

第 58 回大会は、平成 13 年 5 月 26 日（土）と 27 日（日）に、明治大学において開催することを承認した。これにともない、開催校を代表して福宮賢一本部幹事より挨拶と説明があった。

以 上

---

## 学会役員

[50音順(〔歴代会長〕〔理事〕を除く)] ※下線は新任

### 歴代会長

山中篤太郎 (代表理事)      加藤 寛 (初代会長)      新野幸次郎 (第2代会長)  
藤井 隆 (第3代会長)      柏崎利之輔 (第4代会長)      野尻 武敏 (第5代会長)  
植草 益 (第6代会長)

### 名誉会員

板垣 與一      伊東 正則      尾上 久雄      気賀 健三      小島 清  
小松 雅雄      清水 嘉治      中村秀一郎      野田 稔      松浦 茂治  
本吉 敬治

伊東 岱吉 (平8 逝去)      磯部 喜一 (昭62 逝去)      梅田 政勝 (昭62 逝去)  
熊谷 尚夫 (平9 逝去)      佐藤 芳雄 (平10 逝去)      田村 泰夫 (平9 逝去)  
藤井 茂 (平12 逝去)      藤田 敬三 (昭60 逝去)      松尾 弘 (平7 逝去)

### 会 長

横井 弘美

### 副 会 長

加藤 壽延      施 昭雄      西野 萬里      丸谷 冷史

### 常務理事

#### [関東部会]

植草 益 (東洋大)      近江谷幸一 (日本大)      柏崎利之輔 (早稲田大)  
加藤 壽延 (亜細亜大)      加藤 寛 (千葉商科大)      黒川 和美 (法政大)  
五井 一雄 (中央大)      西野 萬里 (明治大)      藤井 隆 (立正大)  
丸尾 直美 (日本大)      横山 彰 (中央大)      吉田徳三郎 (中部学院大)  
(計12名)

#### [中部部会]

齋藤 昊 (愛知学院大)      眞継 隆 (愛知学院大)      横井 弘美 (名古屋学院大)  
(計3名)

[関西部会]

郡 篤 孝 (同志社大) 小西 唯雄 (大阪学院大) 新庄 浩二 (神戸大)  
 鈴木多加史 (追手門学院大) 新野幸次郎 (神戸大) 野尻 武敏 (大阪学院大)  
 丸谷 冷史 (神戸大)

(計7名)

[西日本部会]

施 昭雄 (福岡大) 宮城 辰男 (沖縄国際大)

(計2名)  
 (合計24名)

会計監事

神野 直彦 (東京大) 西田 稔 (関西学院大)

委員会

組織委員会 (全国選挙管理委員会を 兼ねる)	委員長 横山 彰 委員 伊藤 公一 杉野 元亮	顧問 吉田徳三郎 香川 敏幸 酒井 邦雄 田中 康秀 福島 久一
地方選挙管理委員会	関東部会委員長 香川 敏幸 + 委員 (部会幹事) 中部部会委員長 酒井 邦雄 + 委員 (部会幹事) 関西部会委員長 田中 康秀 + 委員 (部会幹事) 西日本部会委員長 杉野 元亮 + 委員 (部会幹事)	
出版編集委員会	委員長 近江谷幸一	
国際交流委員会	委員長 黒川 和美	

理事 (所属機関50音順)

[関東部会]

大谷登士雄 (青山学院大)	熊谷 彰矩 (青山学院大)	荻野 道雄 (亜細亜大)
名取 昭弘 (亜細亜大)	石井 敏 (桜美林大)	佐藤 孝治 (神奈川大)
富山 和夫 (関東学院大)	羽田 亨 (関東学園大)	藤岡 明房 (敬愛大)
井手 秀樹 (慶應大)	大村 達彌 (慶應大)	山田 太門 (慶應大)
瀬野 隆 (国士館大)	石井 啓雄 (駒澤大)	片山 泰輔 (三和総合研究所)
佐々木實雄 (秀明大)	上山 邦雄 (城西大)	安田信之助 (城西大)
吉家 清次 (専修大)	鶴田 俊正 (専修大)	岡村 宗二 (大東文化大)
長谷川秀男 (高崎経済大)	影山 僖一 (千葉商科大)	小林 惟司 (千葉商科大)
篠塚 慎吾 (千葉商科大)	大淵 寛 (中央大)	栗林 世 (中央大)
田中 廣滋 (中央大)	横山 彰 (中央大)	安田八十五 (筑波大)
伊藤 善市 (帝京大)	島 和俊 (東海大)	永山 泰彦 (東海大)
神野 直彦 (東京大)	手塚 眞 (東京経済大)	大岩雄次郎 (東京国際大)
倉井 武夫 (東京国際大)	山崎 和郎 (東北学院大)	小苺米清弘 (東洋大)
高橋 利雄 (日本大)	中山 靖夫 (日本大)	長谷川啓之 (日本大)

福島 久一	(日 本 大)	寺西 俊一	(一 橋 大)	永井 進	(法 政 大)
増田 寿男	(法 政 大)	大沼 盛男	(北 海 学 園 大)	馬場 孝一	(明 海 大)
毛馬内 勇士	(明 治 大)	後藤 昭八郎	(明 治 大)	国本 和孝	(明 治 学 院 大)
中内 清人	(立 教 大)	鈴木 幸夫	(麗 澤 大)	諏訪 貞夫	(早 稲 田 大)
田村 正勝	(早 稲 田 大)	松本 保美	(早 稲 田 大)		

(計56名)

[中部部会]

磯村 孝志	(愛知学院大)	根津 永二	(愛知学院大)	眞継 隆	(愛知学院大)
斉藤 昊	(愛知学院大)	梅下 隆芳	(愛知教育大)	柿内 正徳	(一邨学園短大)
木村 隆之	(岐阜経済大)	寺村 泰	(静 岡 大)	山村 學	(静岡産業大)
椛山 孝金	(椛山女学園大)	千田 純一	(中 京 大)	沈 晚燮	(中 京 大)
山崎 匡毅	(長 野 大)	小林 甲一	(名古屋学院大)	横井 弘美	(名古屋学院大)
中尾 光昭	(名古屋商科大)	水谷 重秋	(南 山 大)	鉢野 正樹	(北 陸 大)
角本 伸晃	(松 阪 大)	寺本 博美	(松 阪 大)	渡辺 悌爾	(三 重 大)
有田 辰男	(名 城 大)	大西 幹弘	(名 城 大)		

(計23名)

[関西部会]

神 隆行	(大阪学院大)	丹羽 春喜	(大阪学院大)	二宮 正司	(大阪経済大)
森田 寿一	(大阪経済大)	東郷 久	(大阪経済法科大)	西岡 教明	(大阪産業大)
豊山 宗洋	(大阪商業大)	明石 芳彦	(大阪府立大)	宮本 勝浩	(大阪府立大)
喜田 栄次郎	(岡山商科大)	遠山 嘉博	(追手門学院大)	大西 秀典	(尾道短大)
田中 充	(関 西 大)	守谷 基明	(関 西 大)	安喜 博彦	(関 西 大)
池田 勝彦	(関西学院大)	土井 教之	(関西学院大)	西村 周三	(京 都 大)
内山 隆夫	(京都学園大)	柿野 欽吾	(京都産業大)	葛西 孝平	(京都産業大)
宮永 昌男	(京都創成大)	衣本 篁彦	(近 畿 大)	桜井 等至	(近 畿 大)
古結 昭和	(高 知 大)	岸本 哲也	(神 戸 大)	福田 亘	(神 戸 大)
山口三十四	(神 戸 大)	夏目 隆	(神戸学院大)	林 忠吉	(神戸国際大)
北野 正一	(神戸商科大)	清川 義友	(同志社大)	郡嶋 孝	(同志社大)
二村 重博	(同志社大)	奥村 茂次	(奈良産業大)	小林 大造	(姫路獨協大)
松水 征夫	(広 島 大)	厚母 浩	(広島経済大)	大政 憲一	(広島経済大)
日隈 健壬	(広島修道大)	櫛本 功	(広島市立大)	川井 悟	(プール学院大)
青野 勝広	(松 山 大)	津田 直則	(桃山学院大)	松川 周二	(立 命 館 大)
衣笠 達夫	(流通科学大)				

(計46名)

[西日本部会]

児島 賢治	(大 分 大)	高良 有政	(冲 縄 大)	比嘉 堅	(沖縄国際大)
外間 安益	(鹿児島国際大)	三輪 俊和	(北九州大)	大住 圭介	(九 州 大)
未永 勝昭	(九州共立大)	杉野 元亮	(九州共立大)	山本 盤男	(九州産業大)
鈴木 武	(久留米大)	原田三喜雄	(西南学院大)	本田 廣實	(第一経済大)

田中 善典	(中九州短大)	市川 芳郎	(日本文理大)	今泉 博国	(福岡大)
水谷 守男	(福岡大)	古賀 昭典	(宮崎産業経営大)	塚田 広人	(山口大)
大城 常夫	(琉球大)				

(計19名)  
(合計144名)

## 本部幹事

### [関東部会]

伊藤 公一	(千葉商科大)	植村 利男	(亜細亜大)	大村 達彌	(慶應大)
香川 敏幸	(慶應大)	上沼 正明	(早稲田大)	川野辺裕幸	(東海大)
熊谷 彰矩	(青山学院大)	小苺米清弘	(東洋大)	佐々木實雄	(秀明大)
田村 正勝	(早稲田大)	中野 守	(中央大)	原田 博夫	(専修大)
福島 久一	(日本大)	福宮 賢一	(明治大)	松原 聡	(東洋大)

(計15名)

### [中部部会]

梅下 隆芳	(愛知教育大)	大西 幹弘	(名城大)	小林 甲一	(名古屋学院大)
酒井 邦雄	(愛知学院大)	水谷 重秋	(南山大)	渡辺 悌爾	(三重大)

(計6名)

### [関西部会]

浅田 和史	(立命館大)	清川 義友	(同志社大)	田中 康秀	(神戸大)
土井 教之	(関西学院大)	西田 稔	(関西学院大)	箱田 昌平	(近畿大)
廣江 満郎	(関西大)	松水 征夫	(広島大)		

(計8名)

### [西日本部会]

大城 保	(沖縄国際大)	黒柳 達夫	(福岡大)	杉野 元亮	(九州共立大)
外間 安益	(鹿児島国際大)				

(計4名)  
(合計33名)

## 部会幹事

### [関東部会]

阿部 望	(東海大)	大岩雄次郎	(東京国際大)	駒井 正晶	(慶應大)
竹内佐和子	(東京大)	谷口 洋志	(中央大)	永井 進	(法政大)
永瀬 伸子	(お茶の水女子大)	中村 文隆	(明治大)	三宅 忠和	(日本大)

(計9名)

---

[中部部会]

荒山 裕行 (名古屋大) 鶴田 利穂 (四日市大) 水野 晶夫 (名古屋学院大)  
家森 信善 (名古屋大)

(計4名)

[関西部会]

明石 芳彦 (大阪市立大) 内山 隆夫 (京都学園大) 白川 雄三 (大阪学院大)  
長屋 泰昭 (大阪府立大) 廣田 俊郎 (関西大) 藤岡 秀英 (兵庫教育大)  
松永 宣明 (神戸大) 吉澤 昌恭 (広島経済大)

(計8名)

[西日本部会]

佐々木正廣 (第一経済大) 仁部 新一 (九州共立大) 宮本 昌典 (福岡大)

(計3名)

(合計24名)

学術機関活動

1. 日本学術会議

第18期会員 (本学会推薦者)

経済政策研究連絡委員会

委員

横井 弘美

加藤 壽延

2. 日本経済学会連合

推薦理事

評議員

柏崎利之輔

加藤 壽延

西野 萬里

3. IFSSO (国際社会科学団体連盟)

ISSC (国際社会科学協議会)

会長

シニア・ボード・メンバー

柏崎利之輔

藤井 隆



[資料1]

## 会 員 状 況

平成12年5月10日現在

## 1. 会 員 数

		関 東 A	中 部 B	関 西 C	西 日 本 D	海外・その他 E	計
現 会 員	個人会員	604	169	334	116	1	1,224
	団体会員	3	2	1	0	0	6
	計	607	171	335	116	1	1,230
新入 会員	個人会員	30	7	15	3	0	55
	団体会員	0	0	0	0	0	0
総 計		637	178	350	119	1	1,285 (1,274)

現会員数は昨年度大会以降の計報者および退会者を減員し、所属変更を計算。

( ) 内は昨年度大会終了時の会員数。

## 2. 会 員 異 動 (50音順)

## ① 計 報

青木 信治 ( 専 修 大 )

伊藤 莊 ( 山 梨 大 )

樗木 航三郎 ( 多 摩 大 )

小林 一三 ( 京 都 産 業 大 )

水野 朝夫 ( 中 央 大 )

以上 5名

## ②退 会 者

有泉 哲 ( 茨 城 大 )

池田 庄治 ( 新 潟 大 )

石畑 良太郎 ( 青 山 学 院 大 )

井田 喜久治 ( 國 學 院 栃 木 短 大 )

市川 周 ( 株 市 川 ア ソ シ エ イ ツ )

岩田 昌征 ( 千 葉 大 )

王 燿鐘 ( 関 西 大 )

岡山 隆 ( 早 稲 田 大 )

奥田 義雄 ( 中 央 大 )

柏 博 ( 同 志 社 大 )

川崎 諭 ( な し )

菊池 徹 ( 株 日 本 航 空 コ ン サ ル タ ン ツ )

久世 了 ( 明 治 学 院 大 )

久野 重明 ( 愛 知 大 )

小谷 正守 ( 國 學 院 大 )

才木 礼子 ( 早 稲 田 大 大 学 院 )

斎藤 重雄 ( 日 本 大 )

斎藤 文則 ( 城 西 大 )

桜井 良治 ( 静 岡 大 )

佐原 洋 ( 経 済 環 境 研 究 会 )

末岡 俊二 ( 東 京 経 済 大 )

須賀 晃一 ( 福 岡 大 )

清光 照夫	( 明 星 大 )	高橋 善四郎	( 獨 協 大 )
谷田 庄三	( 阪 南 大 )	中込 武雄	( 名 古 屋 経 済 大 )
中村 清	( 早 稲 田 大 )	中村 敏夫	( 文 教 大 )
野中 卓	( 別 府 大 )	則長 満	( 追 手 門 大 )
早川 鉦二	( 愛 知 県 立 大 )	藤山 和夫	( 九 州 経 済 調 査 協 会 )
松田 修	( 専 修 大 )	三藤 利雄	( 愛 知 学 泉 女 子 短 大 )
向山 巖	( 武 蔵 大 )	森戸 政信	( 中 村 学 園 大 )
矢島 保男	( 早 稲 田 大 )	吉田 照男	( 関 東 学 園 大 )

以上 38 名

③自然退会者

石井 廣志	( 東 京 家 政 学 院 大 )	伊東 眞理子	( 同 朋 大 )
柿本 国弘	( 岐 阜 経 済 大 )	黄 暁京	( 亜 細 亜 大 学 院 )
蔡 希賢	( な し )	里見 賢治	( 大 阪 府 立 大 )
清水 哲之	( 明 治 大 )	平良 朝男	( 沖 縄 大 )
竹内 莊一	( 千 葉 商 科 大 )	仲宗根 勇	( 琉 球 大 )
原 司郎	( 高 千 穂 商 科 大 )	保田 富士夫	( 嘉 悦 女 子 短 大 )
劉 克儉	( な し )	池田 美智子	( ヨ ル ダ ン 大 )

以上 14 名

④自然退会よりの再入会：なし

⑤所属変更 (50 音順) 部会 (A：関東、B：中部、C：関西、D：西日本)

名 前	所 属	部会
あ . 赤澤 とし子	中央大大学院→那須大	A
有利 隆一	神戸大→岡山商科大	C
い . 池田 眞治	名古屋大大学院→名古屋大	B
板垣 與一	秀明大→一橋大	A
伊藤 正昭	獨協大→明治大	A
稲毛 満春	名古屋学院大→名古屋大	B
お . 大石 邦弘	富士通総研経済研究所→名古屋学院大	A→B
大槻 智彦	広島文化女子短大→広島文化短大(名称変更)	C
岡嶋 宏明	立正大大学院→常盤大	A
小熊 和雄	明治大→秋草学園短大	A
鬼木 俊次	九州共立大→農林水産省農業総合研究所	D→A
か . 片桐 昭司	九州大→広島県立大	D→C

---

	加藤 巖	中九州短大→中京学院大	D→B
	加藤 一誠	関西外語大短期大学部→関西外語大	C
	角本 伸晃	高岡法科大→松坂大	B
	金倉 忠之	東京市政調査会→北見工業大	A
	金箱 臯夫	宮崎産業経営大→専修大	D→A
	川井 悟	福山大→プール学院大	C
	川浦 孝恵	青山学院大→NIL	A
き	木下 武人	中村学園大→福岡大	A→D
く	楠本 眞司	明治大大学院→明治大	A
	熊田 禎宣	東京工業大→千葉商科大	A
	黒澤 清一	三井不動産(株)→松蔭横浜大	A
こ	小畠 崇弘	京都大大学院→さくら銀行	C→A
	小松 憲治	千葉大→日本大	A
	駒村 康平	駿河台大→東洋大	A
さ	坂本 忠次	岡山大→関西福祉大	C
	佐々木雅幸	金沢大→立命館大	B→C
し	鎮目 志保子	(株)三和総合研究所→一橋大大学院	A
す	菅 典雄	日本文理大→あわい総合研究所	D
	杉嶋 岑	日本経済新聞→(株)市場経済研究所	A
	鈴木 恭蔵	公正取引委員会→東海大	A
	鈴木 多加史	関西学院大→追手門学院大	C
	鈴木 安昭	青山学院大→豊橋創造大	A→B
た	高田 富夫	名古屋学院大→流通経済大	B→A
	高橋 真	東北学院大→東北文化学園大	A
	高橋 誠一	札幌大→東北福祉大	A
	竹田 繁	青森公立大→石巻専修大	A
	武田 巧	和光大→明治大	A
	田中 昭一	大阪府教育委員会→大阪府	C
つ	鶴岡 詳晃	千葉商科大→千葉経済大	A
	鶴田 康二	長野大→國學院大久我山高校	A
と	土井 紀夫	鹿児島経済大→鹿児島国際大	D

---

	土井 正義	PL広島安芸教会→PL出雲教会	C
	富田 重夫	慶応大→浜松大	A→B
	董 宜嫻	福岡大大学院→折尾女子経済短大	D
な	内藤 英憲	浜松大→日本大	B→A
	仲上 健一	立命館大→立命館アジア太平洋大	C
	長島 正治	九州大→埼玉大	D→A
	永瀬 伸子	東洋大→お茶の水女子大	A
に	西川 雅史	法政大大学院→郵政研究所	A
	丹羽 弘行	名古屋女子文化短大→愛知産業大	B
ね	根津 永二	名古屋市立大→愛知学院大	B
の	熨斗 隆文	(社)生活文化総合研究所→(社)近代経済研究所	A
は	箱木 眞澄	東北大→広島経済大	A→D
	走尾 正敬	千葉商科大→(社)日本経済研究センター	A
	濱崎 正規	花園大→立命館大	C
	浜本 光紹	(財)地球環境戦略研究機関→獨協大	A
ふ	藤井 弥太郎	慶応大→帝京大	A
へ	米花 稔	福山大→神戸大	C
ほ	保谷 真理子	日本大大学院→なし	A→C
ま	増田 純一	東京経済大大学院→東京経済大	A
	増田 祐司	東京大→国際大	A
	松岡 紘一	島根県立国際短大→島根県立大	C
	眞継 隆	名古屋大→愛知学院大	B
み	三浦 功	北九州大→九州大	D
	宮坂 正治	広島県立大→信州大	C→B
	宮永 昌男	なし→京都創成大	C
	宮野 俊明	中央大大学院→九州産業大	A→D
	妙見 孟	聖徳学園女子短大→岐阜聖徳学園大	B
も	森脇 祥太	早稲田大大学院→(財)未来Z学研究所	A
や	矢口 和宏	(株)ライフデザイン研究所→東北文化学園大	A
	谷沢 弘毅	(株)日本アプライト・リサーチ研究所→札幌学院大	A
	梁田 英磨	秀明大→棕櫚亭	A

---

	藪下 武司	中部女子短大→中部学院大短大	B
	藪田 雅弘	福岡大→中央大	D→A
	山口 純哉	神戸商科大大学院→長崎大	C→D
	山崎 美宜	中央商業高校→中央学院大中央高校	A
	山田 篤裕	慶応大大学院→経済協力開発機構	A
	山本 繁綽	関西大→龍谷大	C
よ	吉澤 清	広島女子商短大→広島安芸女子大	C
	吉田 雅彦	奈良産業大→愛知学院大	C→B
	吉田 靖彦	宮崎産業経営大→青山学院大	D→A
わ	若井 貴視	名古屋聖霊短大→南山大	B
	鷺尾 紀吉	中小企業事業団→名古屋産業大	A→B
	和田 聡子	神戸大大学院→大阪学院大	C
	渡辺 俊三	広島修道大→名城大	C→B

以上 87名

---

#### 4. 平成11年度入会申込者名簿 (50音順)

名前	所属	部会
明石 鉄也	関西大 大学院	C
朝倉 暁生	江戸川大	A
新井 勝俊	神戸大 大学院	C
李 秀澈	名古屋学院大	B
伊ヶ崎 大理	九州大 大学院	D

#### 推薦者

守谷 基明  
田中 昭一  
五井 一雄  
谷口 洋志  
永合 位行  
丸谷 冷史  
横井 弘美  
小林 甲一  
大住 圭介  
細江 守紀

石田 幸男	千葉商科大 大学院	A	加藤 寛
維田 隆一	立正大 大学院	A	景山 僖一
伊藤 昭浩	東洋大 大学院	A	藤井 隆
稲山 敏則	日本福祉大 大学院	B	福岡 克也
上地 美和	関西大 大学院	C	小苺米 清弘
上山 信一	マッキンゼー&カンパニー	A	松原 聡
小川 雅人	法政大	A	丹羽 弘行
小野島 真	名古屋学院大	B	根津 永二
解 安政	関西大 大学院	C	守谷 基明
勝間田 憲男	㈱グローバル社会経済研究所	A	田中 昭一
金沢 哲雄	立正大	A	加藤 寛
金森 康	神戸商科大 大学院	C	大村 達彌
河口 洋行	国際医療福祉大	A	相田 利雄
川端 和美	名古屋大 大学院	B	毒島 龍一
金城 栄喜	シアトル大	D	横井 弘美
金城 栄律	浦添市役所	D	小林 甲一
久保 広正	神戸大	C	守谷 基明
熊谷 太郎	神戸大 大学院	C	廣江 満郎
栗山 晃	明治大 大学院	A	横井 弘美
黄 玲	東洋大	A	小林 甲一
坂井 秀吉	広島市立大	C	藤井 隆
末永 啓一郎	明治大 大学院	A	福岡 克也
杉浦 立明	群馬工業高等専門学校	A	北野 正一
			阪本 靖郎
			塩野谷祐一
			丸尾 直美
			眞継 隆
			竹内 信二
			比嘉 堅
			宮城 辰男
			比嘉 堅
			梅井 道生
			丸谷 冷史
			田中 康秀
			丸谷 冷史
			永合 位行
			後藤 昭八郎
			毛馬内 勇士
			植草 益
			米田 公丸
			櫛本 功
			二村 英夫
			中村 文隆
			鈴木 利大
			眞継 隆
			荒山 裕行

鈴木 義浩	中央大 大学院	A	横山 彰
大東 正虎	関西大 大学院	C	細野 助博
竹田 育広	早稲田大 大学院	A	守谷 基明
田尻 慎太郎	㈱ライフデザイン研究所	A	田中 昭一
田中 淳	都立航空工業高等専門学校	A	後藤 昭八郎
田村 充代	千葉商科大	A	毛馬内 勇士
崔 宗煥	西南学院大	D	丸尾 直
陳 玉雄	麗澤大 大学院	A	加藤 寛
千明 誠	東洋大	A	松井 暁
塚本 英邦	関西大 大学院	C	青木 亮
釣 雅雄	一橋大 大学院	A	加藤 寛
照内 八重子	立正大 大学院	A	景山 僖一
内藤 徹	九州共立大	D	原田 三喜雄
中澤 栄一	慶應義塾大 大学院	A	施 昭雄
中西 泰造	愛媛大	C	鈴木 幸夫
中村 慎助	慶應義塾大	A	牧瀬 稔
南 成珍	明治大 大学院	A	植草 益
庭田 文近	立正大 大学院	A	小苺米 清弘
任 大川	慶應義塾大	A	守谷 基明
朴 起弘	関西大 大学院	C	小谷 節男
花田 真理子	龍谷大	C	藤岡 明房
福重 元嗣	神戸大	C	吉野 文雄
三浦 宏一	東海大	A	藤井 隆
			福岡 克也
			杉野 元亮
			施 昭雄
			岡崎 哲郎
			伊藤 穰
			新岡 智
			望月 正光
			中村 まづる
			山田 太門
			後藤 昭八郎
			中村 文隆
			藤井 隆
			福岡 克也
			加藤 寛
			前田 正子
			守谷 基明
			田中 昭一
			宮永 昌男
			井口 富夫
			新庄 浩二
			田中 康秀
			島 和俊
			川野辺 裕幸



水田 健一	名古屋学院大	B	横井 弘美
三田 進一	関西大 大学院	C	小林 甲一
三田 義之	流通科学大	C	守谷 基明
宮井 久男	岩手県立大	A	田中 昭一
宮武 磨紀子	大東文化大	A	植草 益
関 庚植	明治大 大学院	A	神野 直彦
村瀬 英彰	名古屋市立大	B	加藤 壽延
村田 美希	松阪大	B	大沢 泉
文 成炫	京都大 大学院	C	谷口 洋志
茂木 創	慶應義塾大 大学院	A	中島 正人
森 邦恵	北海道大	A	後藤 昭八郎
矢崎 隆夫	国士舘大 大学院	A	中村 文隆
湧上 敦夫	沖縄国際大	D	根津 永二
			横井 弘美
			奥野 信宏
			鶴田 利恵
			西村 周三
			植田 和弘
			藤岡 明房
			吉野 文雄
			前田 隆
			加藤 尚史
			瀬野 隆
			粕谷 慶治
			比嘉 堅
			梅井 道生

以上 55名

## 学会規則の改正

### 1. 改正理由

本学会では、従来、法人が入会する場合、規則第4条（「経済政策の研究に関係ある団体」）にもとづいて「団体会員」として認めてきましたが、新たに「賛助会員」：「本会の目的に賛同し、本会の事業を援助する法人等の会員」を加え、この趣旨に沿う法人の入会を促すことにしました。

### 2. 改正後

#### 第4条

経済政策の研究に関係ある団体又は官庁、及び本会の目的に賛同し本会の事業を援助する法人等も会員になることができる。

#### 第6条

団体会員又は官庁会員、及び賛助会員 50,000円

---

## 年報編集内規

昭和62年5月23日制定  
平成12年5月27日改正

1. 日本経済政策学会年報(以下「年報」という)は、以下の論文を掲載する。
    - (イ) 大会報告(和文・英文)
    - (ロ) 展望論文(和文・英文)
    - (ハ) 自由投稿論文(和文・英文)
  - (二) 書評(外国語文献・邦文文献)
  - (ホ) その他編集委員会において必要と認めたもの
2. 大会報告論文は、予定討論者及びその他の会員との討論に基づき修正した論文を掲載するものとする。
  3. 大会報告の内の自由論題報告については、場合により、年報に掲載しない場合がある。  
この決定は、座長、予定討論者の意見を参考にして、編集委員会が行う。
  4. 編集委員会は、次のものをもって構成する。  
編集委員長 1名 編集委員 若干名  
編集委員長は、会長が指名する。  
編集委員は、各部会から推薦されたもの、及び編集委員長が指名するもの若干名をもって構成する。  
編集委員会は、編集委員長が議長となる。
  5. 自由投稿論文、邦文文献の書評については別に定める。
  6. 執筆要項は別に定める。
  7. この規程は平成12年5月27日より発効する。

## 自由投稿論文に関する内規

昭和62年5月23日制定  
平成12年5月27日改正

1. レフェリーの審査を受ける論文を「自由投稿論文」(レフェリー論文)という。
  2. 自由投稿論文の投稿は、以下の条件のうちいずれかを満たしていなければならない。
    - (イ) 今までどこにも掲載されなかったもので、新しい知見を与えるもの
    - (ロ) 大会で報告されて、他に発表されなかったもので、新しい知見を与えるもの
  3. 自由投稿論文に対するレフェリーは1論文について2名とする。レフェリーの選定は自由投稿論文審査運営委員会(以下、「審査運営委員会」という)が行う。
  4. 審査運営委員会はレフェリーの意見を参考にして掲載の可否を決定する。
  5. 自由投稿論文の原稿提出期限は年に2回とする。  
第1回原稿締切日 1月10日  
第2回原稿締切日 7月15日
  6. 自由投稿論文の執筆要項は、別に定める。
  7. 審査運営委員会は、各部会から推薦された会員4名によって構成する。委員の任期は、原則として、以下のようにする。  
関東部会・関西部会選出委員 3年  
中部部会・西日本部会選出委員 4年  
ただし、関東部会・関西部会選出委員と中部部会・西日本部会選出委員が同時に入れ替わらないように配慮する。
  8. これに関する事務は編集委員会が行う。
  9. この規程は平成12年5月27日より発効する。
-

---

## 邦文文献の書評に関する内規

昭和59年5月24日制定

昭和62年5月23日改正

平成12年5月27日制定

1. 経済政策に関する邦文文献の書評を年報に掲載する。
2. 書評は、次の点を考慮して、書評選考委員会が推薦し、常務理事会が決定する。
  - (イ) 会員の著作に限定しないが、できるだけ会員の著作を取り上げる。
  - (ロ) 単独の個人の著書、共著、編著のいずれでもよいが、個人の著作を優先する。
  - (ハ) 原則として前年(前年1月－12月)に発行されたものを対象とする。
3. 評者は、書評選考委員会が決定する。
4. 選考委員会は、各部会に属する幹事4名、及び編集委員長、編集委員長の指名する編集委員若干名によって構成する。

委員の任期は、原則として以下のようにする。

関東部会・関西部会選出委員	3年
中部部会・西日本部会選出委員	4年

ただし、関東部会・関西部会選出委員と中部部会・西日本部会選出委員が同時に入れ替わらないように配慮する。

委員に事故あるときは、その選出部会から代わりの委員をたてることができる。

ただし、その委員の任期は残務期間とする。
5. 邦文文献の書評に関する執筆要項は別に定める。
6. 以上に関する事務は、編集委員会が行う。
7. この規程は平成12年5月27日より発効する。

## レフェリー論文投稿要領

前掲内規の改正に伴って、投稿締切日が年に2回となった。要領は以下のとおりである。

1. 締切日：

第1回	1月10日
第2回	7月15日

第1回締切分で採用された場合、次年度の年報に掲載される。不採用の場合は、論文修正の上、次回7月15日か、翌年1月10日締切分に再度投稿できる。(再度投稿は1回限り)

7月15日締切分については、主に、大会報告の中の希望者を対象とする。大会での報告者は、大会報告として年報に掲載するか、レフェリー論文として投稿するかを選ぶことができる。レフェリー論文として投稿して採用された場合、レフェリーによって指摘された部分の修正を経て、年報に掲載される。採用されなかった場合には、大会報告として書き直しの上、年報に掲載される。

---

2. 原稿枚数：200字詰原稿用紙 56枚（8頁）

又は、ワープロ原稿（30字×24行）16枚（11520字）  
表題、著者名は、枚数に含まれる。

3. 提出部数：3部

4. 執筆に当たっての注意事項：

（イ）図や表は、枚数に含む。図や表は大きさにもよるが、大体図表一つにつき200字詰原稿用紙で3枚から4枚とみて計算する。

なお、1頁分掲載の図表は1400字＝200字詰原稿用紙7枚分に相当。

（ロ）数式は、1行につき200字詰原稿用紙の2行分に相当。

5. 送り先（投稿に関する問い合わせ先）：

〒101-8360 千代田区三崎町1-3-2

日本大学経済学部 近江谷幸一宛 TEL：03-3219-3350

6. その他：

（イ）上記枚数・締切日は厳守。

（ロ）念のため、原稿のコピーを手許に保存しておくこと。

## 役員選挙の告示とお願い

会長 横井弘美

現役員の任期が次年度全国大会（於明治大学）までとなりましたので、過日の沖縄大会の総会で、役員選出の告示を行いました。本会では、組織委員会が全国選挙管理委員会を兼ねていますので、横山彰委員長のもとで、全国および地方選挙管理委員会に選挙の実務を取り仕切っていただきます。「次年度大会までの役員選出スケジュール」（「ニューズレター」No.11 参照）にありますように、来年2月15日までに、まず常務理事を投票により選出していただくこととなります。年明けに改めて選挙案内をさせていただきますので、会員各位のご協力を心よりお願い申し上げます。





---

## 全国大会・部会研究会のご案内

### 第58回全国大会

1. 日 時：2001年5月26日(土)、27日(日)
2. 場 所：明治大学(駿河台校舎)
3. 大会準備委員長：後藤 昭八郎 理事
4. 連絡先：明治大学商学部 福宮 賢一 教授

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学・研究棟1108 福宮研究室気付

Tel: 03-3296-4545 (代表) Tel&Fax: 03-3296-2270 (研究室)

E-mail :fukumiya@isc.meiji.ac.jp

Homepage : <http://www.isc.meiji.ac.jp/~fukumiya/policy01.html>

### 関東部会

1. 常務理事・幹事会  
日 時：2000年9月29日(金)  
場 所：海運倶楽部 303号室

### 中部部会

#### 第34回中部地方大会

##### ①見学会

日 時：2000年11月24日(金) 14:00 ~ 16:00

場 所：鳥羽水族館

##### ②研究報告会

日 時：2000年11月25日(土) 10:00 ~

場 所：松阪大学 1号館 第1会議室

### 関西部会

1. 研究報告会  
日 時：2000年11月25日(土)  
場 所：同志社大学
2. 工場見学会(予定)  
日 時：2000年12月 第2週  
場 所：ダイハツ滋賀工場

### 西日本部会

#### 第66回秋期大会

日 時：2000年10月21日(土)

場 所：九州共立大学 常務理事・幹事会 11:00 ~ 13:00

論文報告 13:00 ~ 16:00

部会報告 16:00 ~ 17:00

---

## 日本経済学会連合

### 国際会議派遣費用補助制度のご案内

日本経済学会連合は、加盟学会の会員に対して、毎年2回（各回数件）、国際会議への派遣費用（往復渡航・宿泊費）の補助金を支給している。この補助制度に応募する会員は、各部会事務局に申請書類が準備されているので、これに必要事項を記入のうえ、所属部会事務局宛に提出されたい。部会ならびに本部の審査を経たのちに、本部事務局が、申請書類を日本経済学会連合事務局に送付する。

なお、申請にあたっては、派遣先の国際会議が申請学会の公認したものであること、申請者が同会議での報告者または討論者であることを要する。

申請の締切は、毎年6月20日と2月末日であるので、その1ヶ月前までに申請書類を部会事務局に提出されたい。

## 安倍フェロースhip

### 奨学研究者募集のご案内

安倍フェロースhipは、故安倍晋太郎元外務大臣の提案で設立された「国際交流基金日米センター」の事業であり、日米の政策指向型研究または比較研究をする研究者15～20名に、研究費、渡航費、滞在費および給与充当分を支給するものである。申請者は、日米のいずれかに研究の拠点を持ち、博士号ないし専門分野での同等の経験を有することを要する。申請書類提出期限は、毎年9月1日である。

募集要項や申請書類の請求ならびに問い合わせは、下記に連絡されたい。

安倍フェロースhip・プログラム東京事務所

〒107-6021 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル20階

国際交流基金日米センター内

Tel. 03-5562-3506 Fax. 03-5562-3504

なお、申請にあたっては、日本経済政策学会の会員であることを明記されたい。



---

## 《本部事務局からの連絡事項》

### 1. 所属及び住所の変更・訂正について

- ・ 変更・訂正等があった場合は、会費納入用払込用紙の通信欄に、その旨を明記していただくか、改めて書面(ハガキ、FAX、Eメール等)でご連絡ください。
- ・ 会員名簿のデータは、本部事務局で一元的に管理していますので、変更・訂正は必ず本部事務局までご連絡下さい。

2. 事務局では、入会希望の方に「入会手続きのご案内」「入会申込書」「会費払込用紙」の3部を揃えてお渡ししています。各会員の方々へ入会のお問い合わせがありました際には、本部事務局あるいは各部会事務局にてお取り寄せいただけますようご案内ください。

3. 次年度第58回全国大会についてのお問い合わせ・ご質問等は、前記(25頁)の全国大会準備委員会までお問い合わせください。

4. 本部事務局へのお問い合わせは、電話のほか、郵便、FAX、Eメールでも受付ています。ただし、直接電話でお問い合わせの場合は、10:00～15:00の時間でお願いたします。

### 5. 新規名簿作成についてのお願い

新規会員名簿作成に伴い、登録項目の調査を行います。今回、同封されているはがきに必要事項を全てご記入の上、10月31日までにご投函いただきますようご協力をお願いいたします。

なお、はがきに記載されている注意事項を確認の上、わかりやすい字ではっきりとご記入ください。

※ 所属機関・E-mail等、該当項目がない場合は、項目欄に「なし」と明記し、全て記入漏れのないようご注意ください。

※ 学生会員の方は、所属機関の学生欄に必ずチェック印をご記入ください。

---

# 日本経済政策学会

## 本部・部会事務局連絡先

本部事務局： 〒480-1298 愛知県瀬戸市上品野町 1350  
名古屋学院大学総合研究所気付 横井 弘美  
Tel 0561(42)0353 (研究所事務室) ; 0561(42)0351 \* 3302 (横井研究室直通)  
Fax 0561(42)1144 (2000年3月より変更)  
Home Page アドレス <http://www.ngu.ac.jp/jepa/index.htm>  
E-mail アドレス [yokoi@ngu.ac.jp](mailto:yokoi@ngu.ac.jp)

関東部会： 〒108-0073 東京都港区三田 2-14-5 フロイント三田 1011  
現代経済研究センター 加藤 寛  
Tel. 03(3454)6522 Fax. 03(3456)5400  
Home Page アドレス <http://www.ef.cuc.ac.jp/seisaku>

中部部会： 〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池 12 (2000年4月より変更)  
愛知学院大学産業科学研究所気付 眞継 隆  
Tel. 05617(3)1111 Fax. 05617(3)9305

関西部会： 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1  
神戸大学経済学部 丸谷 冷史  
Tel. 078(803)6854 Fax. 078(803)7293

西日本部会： 〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1  
福岡大学経済学部 施 昭雄  
Tel. 092(871)6631 内線 4208 Fax. 092(864)2904

日本経済政策学会ニューズレター No.14 (2000年10月)  
編集発行：日本経済政策学会本部事務局  
〒480-1298 愛知県瀬戸市上品野町 1350  
名古屋学院大学総合研究所気付 横井 弘美  
Tel 0561(42)0353 (研究所事務室) Fax 0561(42)1144  
E-mail アドレス [yokoi@ngu.ac.jp](mailto:yokoi@ngu.ac.jp)